

令和5年度平塚市自殺対策会議 議事録

日 時 令和5年9月22日（金）14時～14時30分
場 所 平塚市役所本館 4階 410会議室
委 員 斎藤委員、大谷委員、内門委員、岩崎委員、遠藤委員、岩崎委員、山田委員、渡辺委員（代理）、益子委員、杵野委員、工藤委員
事務局 平塚市福祉部 岸福祉部長
福祉総務課 柳川課長、杉崎担当長、五十嵐主査、石原主事
傍聴者 0人

（議題）

- （1）国及び県の自殺対策にかかる動向について
- （2）平塚市の自殺の現状と取組について
- （3）質疑応答

【配布資料】

次 第

名 簿

座席表

資料1：令和4年中における自殺の状況

資料2：市内における自殺者推移

資料3：こころと命のサポート事業における取組

- 開会に先立ち、岸福祉部長から挨拶
- 委員自己紹介及び事務局紹介
- 会議の公開について事務局からの説明

これより事務局による議事進行

議題（１）国及び県の自殺対策にかかる動向について、資料１をもとに事務局から説明。

議題（２）平塚市の自殺の現状について、資料２～３をもとに事務局から説明。

【質疑】

委員

非常によく取り組まれているなと思い、聞かせていただきました。

自殺対策総合大綱の中で、厚労省が自治体に向けてプロファイルを出していると思うのですが、平塚市はどのようなプロファイルが出されているか教えていただけますか。

事務局

現時点で直近の２０２２年のプロファイルはまだ出されていませんが、２０２１年の平塚市のプロファイルでは、「生活困窮者」、「勤務・経営者」、「高齢者」が多いとされています。

委員

それでは、この方々に特に重点的に対策をしているということでしょうか。

後ほど懇話会でこの方々への取組の説明がされるのでしょうか。

事務局

はい。後ほど説明します。

委員

様々な取組の中で、「こころの体温計」について、何か反響はあることはあるのでしょうか。

事務局

直接的なレビューは集計していないので、直接的に反響を拾うことは出来ていません。

委員

教育委員会では「こころの体温計」について、話題になることはあるのでしょうか。

委員

それについては把握しておりません。

事務局

平塚市の「こころの体温計」は今年度廃止を考えております。

理由としましては、神奈川県を含む、県内で多くの自治体で全く同じシステムを導入していることや、厚労省で類似の事業を実施していることにより、年々平塚市のアクセス数が減少しているためです。

なお、昨年度アクセス数が増加した理由としましては、昨年度9月に配布した「中高生向けお守り型リーフレット」の中に、このシステムのQRコードを記載したことで、同時期にアクセス数が増加しました。

委員

厚労省の自殺対策大綱に若年層の自殺対策として重点項目が記載されているとおり、この事業のように若年層にメッセージを届けることはとても重要だと考えます。今後とも若者にメッセージが届けられるような取組は続けて欲しいと思います。

例えば産業では、厚労省が運営する「こころの耳」がかなり普及しています。そのようなものになっていけば、若年層にはSNSなどでマイナスなメッセージばかり届くような環境ですが、プラスのメッセージをどんどん出していくことで若年層に私たちの想いが届くと思いますし、それが彼らを救うセーフティネットになっていくと思うので、このあたりに力を入れていただけたらと思います。

事務局

若年層だけでなく、広い世代に知っていただけるような取組は大事だと思いますので、続けていけたらと思います。

委員

いろいろな世代にメッセージを届けるためには、ワンパターンではいけないと思います。

それぞれの世代に効果的なメッセージの送り方があると思います。若年層にはwebが、特に効果的だと思いますので、何らかの形でwebを使った取り組みを（心の体温計にこだわらず）行っていただけたらと思います。

事務局

ありがとうございます。皆さまのご協力により、全ての議題は終了しました。それでは、以上で令和5年度平塚市自殺対策会議を終了します。